

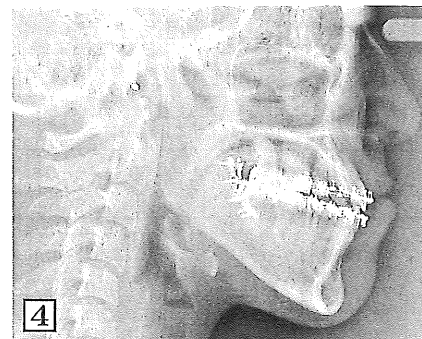
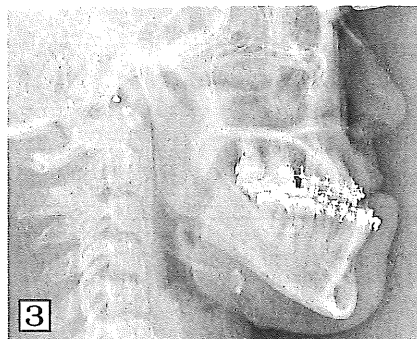
大分岡病院

顔のゆがみや悪いかみ合わせ...

顎変形症 悩まず相談を



矯正手術で外科的に治療



①顎変形症の女性。顎矯正手術を受ける前②手術を受けた後
③手術を受ける前のエックス線写真④手術を受けた後（大分岡病院提供）

顎変形症は、下顎が突き出していたり、前歯が出ていたり、顔面が左右で非対称だったり、上下の歯の間に隙間ができるなどの症状がある。矯正治療だけで正しいかみ合わせを得られない場合、顎矯正手術で外科的に治療する。顎の骨を切除して適切な位置に動かす治療で、術前と術後にそれぞれ約1年間の歯の矯正を行う。顎矯正手術には保険が適用される。

同病院ではマキシロフェイスナルユニットを開設した2005年以来、かかりつけの歯科医や地域の矯正歯科の紹介を含めて約260例の顎矯正手術を行った。同病院で

顎矯正手術は下顎の成長が止まった頃から可能で、同病院では中学3年生（女性）や高校2年生（男性）の例がある。

松本部長は「治療を受けた人からは『ずっと気になっていたので治療をしてよかった』『かみ合わせがよくなって満足している』といった声が寄せられている。顎変形症で悩んでいたら、まずはかかりつけの歯科医や地域の矯正歯科に相談してほしい」と呼び掛けている。

口腔外科や形成外科、矯正歯科が連携して口や顔、顎の病気を専門的に治療する「マキシロフェイスナルユニット」を開設している大分岡病院（大分市）は、顎の発育障害である「顎変形症」の外科的治療に積極的に取り組んでいる。同ユニットの松本有史部長（歯科医師）は「かみ合わせなどの機能面が改善されるだけでなく、整容的な美しさも改善される。虫歯や歯周病の予防にもなる。症状のある人は治療を受けて、一生自分の歯で健康に食べてほしい」と話している。



松本有史部長

顎変形症の治療を受けた10代の女性の場合、術前の矯正治療の後、手術で上顎を約5ミリ前に動かして、下顎は約8ミリ下げてバランスを整えた。さら

同ユニットでは、他に外傷（骨折、けが）によるあごや顔の治療、口唇口蓋裂の治療、インプラントの埋め込みなどの治療を行っている。

整容的な美しさも改善